

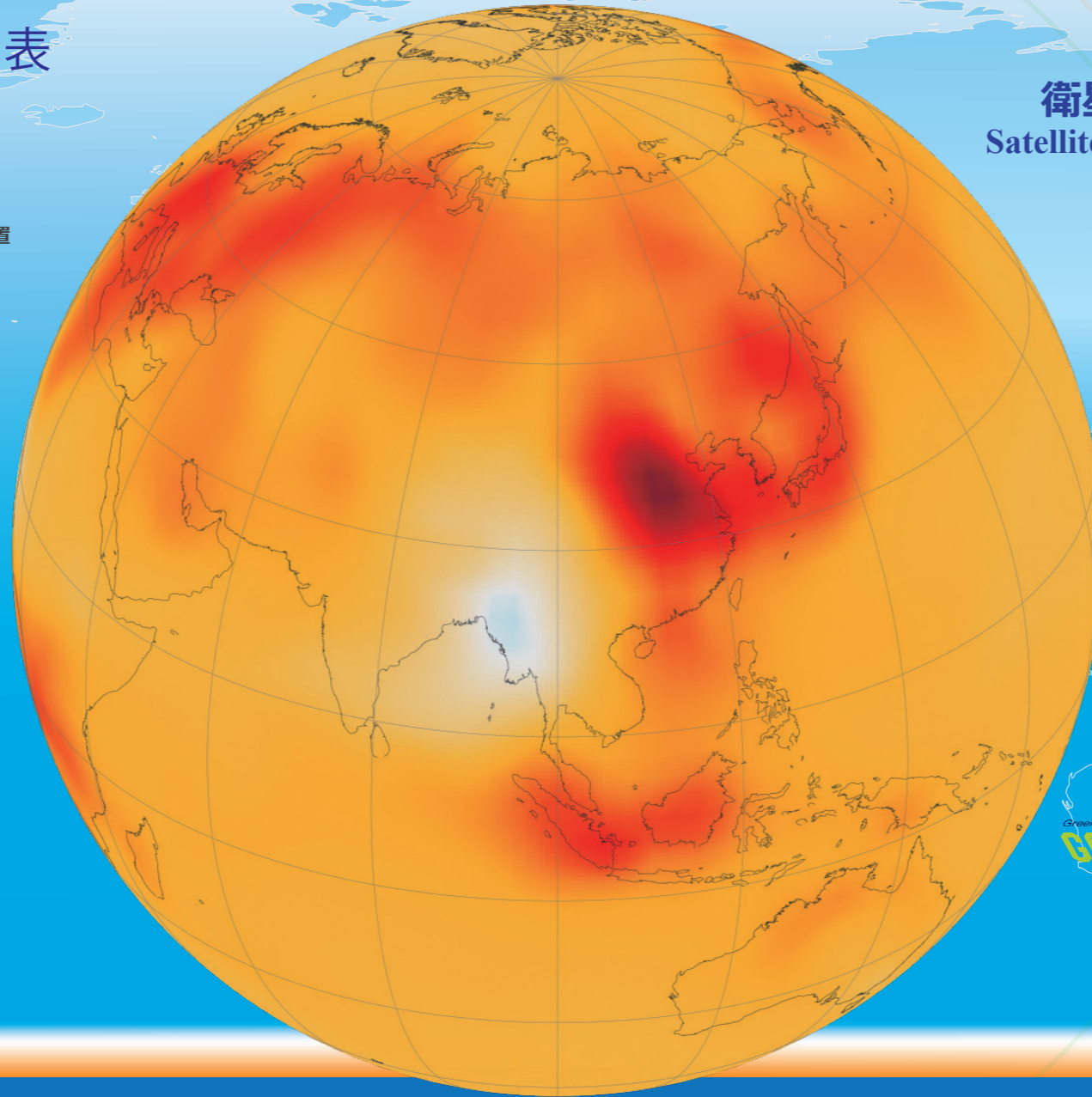
国立環境研究所における

## GOSATシリーズ 年表

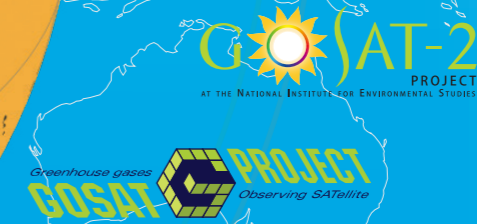
- 2004 温室効果ガス観測技術衛星 (GOSAT)研究チーム設置
- 2006 GOSATプロジェクトオフィス設置
- 2009 GOSAT打ち上げ
- 2012 GOSAT-2プロジェクト準備チーム設置
- 2013 GOSAT-2プロジェクトチーム設置
- 2016 衛星観測センター設立
- 2018 GOSAT-2打ち上げ
- 2019 GOSAT-GW準備チーム設置



GOSATによる全球二酸化炭素濃度  
(2015年10月)



衛星観測センター  
Satellite Observation Center



〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2  
国立環境研究所 衛星観測センター

Tel: 029-850-2838

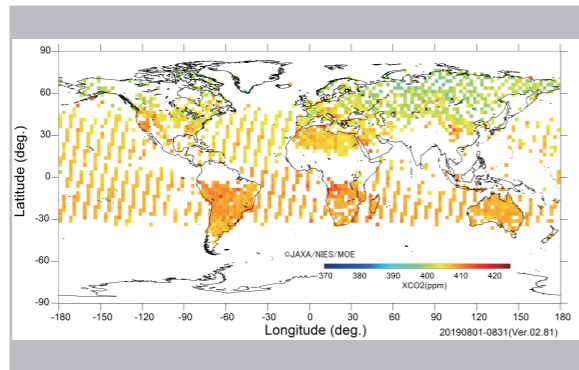
Email: soc-info@nies.go.jp URL: www.nies.go.jp/soc



国立研究開発法人国立環境研究所  
National Institute for Environmental Studies

2020年2月 Ver. 2

## GOSAT プロジェクト



**GOSATによる  
全球二酸化炭素カラム平均濃度分布図（2019年8月）**

2009年1月23日に打ち上げられた地球観測衛星GOSAT（Greenhouse gases Observing SATellite）は、地球温暖化の原因となる温室効果ガスのうち、二酸化炭素とメタンの濃度を観測しています。GOSATはすでに5年間の定常運用を終了していますが、現在も観測を続けています。

国立環境研究所ではGOSATデータの hoch 処理や検証等を行っています。

衛星観測センターは国立環境研究所第4期中長期計画における「衛星観測に関する研究事業」の実施主体として平成28年4月に地球環境研究センター内に設置されました。

本事業には当所が環境省・宇宙航空研究開発機構と共同で推進している「温室効果ガス観測技術衛星」（GOSAT、いぶき）、「温室効果ガス観測技術衛星2号」（GOSAT-2、いぶき2号）、「温室効果ガス・水循環観測技術衛星」（Global Observing SATellite for Greenhouse gases and Water cycle, GOSAT-GW）の3つの地球観測衛星プロジェクトが含まれます。

本事業の目的は以下の2点です。

1. 衛星による大気中温室効果ガス濃度等の全球観測を継続的に実施し、全球炭素循環や関連物質の濃度分布の科学的理解の深化及び将来の気候予測の高精度化に貢献すること。
2. 衛星を用いた各国の温室効果ガスや粒子状物質の排出インベントリや排出削減活動の検証に関する技術を開発し、環境省の地球温暖化関連施策へ貢献すること。

## GOSAT-2 プロジェクト



**GOSAT-2  
2018年10月29日打ち上げ**

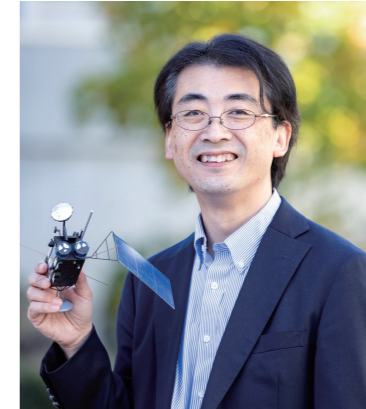
GOSAT-2はGOSATの後継機となる地球観測衛星で、GOSATより高い精度での二酸化炭素やメタンの観測のほか、一酸化炭素やエアロゾル、PM2.5等の観測も行います。国立環境研究所はGOSAT-2データの hoch 処理や検証等を担当しています。

GOSAT-2は2018年10月29日にJAXA種子島宇宙センターから打ち上げられました。



## ごあいさつ

2016年度より衛星観測センターの観測センター長を務めている松永と申します。当センターでは現在、GOSATプロジェクト、GOSAT-2プロジェクト及びGOSAT-GWプロジェクトを推進しています。



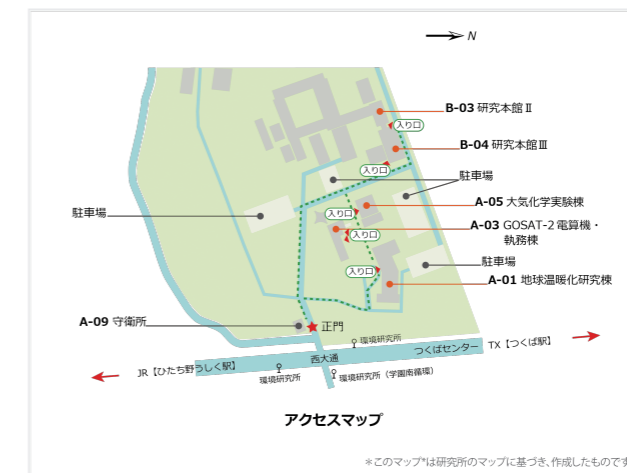
**衛星観測センター  
センター長 松永恒雄**

これらのプロジェクトでは、GOSATデータの定常処理を行うGOSAT DHF、GOSAT-2データの定常処理を行うG2DPSの2つの地上システムの開発と運用を中心に、両衛星のプロダクトの検証や様々な研究を進めています。また国内の関連研究者から組織されるサイエンスチームや国内外の研究者を対象とした研究公募の事務局も当センターが受け持っています。さらにGOSAT-2の後継機となるGOSAT-GWについても、環境省・JAXAと連携して開発を始めました。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## 所内マップ

当センターは6つの建物に分かれて業務を行っています。お越しの際には、建物の名前をご確認ください。



※このマップは研究所のマップに基づき、作成したものです。